

地下鉄銀座線の図面と大正期の都市高速鉄道網計画

東京地下鉄(株) 正会員 ○平野 隆

1. はじめに

東京地下鉄の銀座線は昭和2年の開業から昨年12月に88周年を迎えた。今年度より土木図書館デジタルアーカイブスに協力して銀座線の図面を提供するにあたり、改めて開業当時の設計図類を見たところ、大正期の都市計画に基づく高速鉄道網計画を考慮した検討がなされていることを再認識することが出来た。確認作業は未完であるが、本稿では図面から読み取れる関東大震災の復興計画に基づく内務省告示の高速鉄道網と銀座線の関係について報告する。

2. 関東大震災復興計画 内務省告示56号

銀座線建設開始後の大正12年9月1日に発生した関東大震災を契機として、内務省は既定の都市計画の徹底を期すとともに帝都復興院を設置し復興計画に着手した。市内の交通計画も復興計画に対応した高速鉄道網が必要であるとして、大正14年3月に5路線82.4kmの高速鉄道網を告示した(図-1・表-1)。

この計画は東京駅付近を重視したものとなっており、震災以降に建てられた高層建築群を核として丸ノ内地区が東京の中心地となることを予想した計画であった。また震災を契機として都心部の壊滅やその後の市街地の再編成のため職住分離が起こるが、この計画では西方の終点は開発途上の山手線内に留まっている。

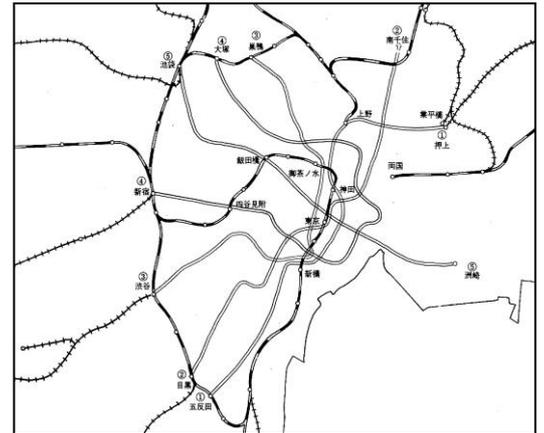


図-1 内務省告示56号による網図

表-1 内務省告示56号の路線とルート

番号	起点	経過地	終点	延長	現行路線
1	五反田	芝公園・新橋駅・日本橋・万世橋(神田)・上野・浅草	押上	16.7km	都営浅草・銀座
2	目黒	西久保・祝田橋・本石町・浅草橋・田原町	南千住	16.1km	日比谷
3	渋谷	桜田本郷町・東京駅前・万世橋・本郷三丁目	巢鴨	15.4km	銀座・都営三田
4	新宿	四谷見附・日比谷・築地・蛸殻町(上野広小路)・本郷三丁目・竹早町	大塚	20.0km	丸ノ内
5	池袋	早稲田・飯田橋・一ツ橋・東京駅・永代橋	洲崎	14.2km	東西

※現行路線は参考(網図)の変遷があり現在の経過地とは異なる)

3. 銀座線と内務省告示56号

56号告示では東京地下鐵道が建設中の浅草～新橋間は第1号線の一部に位置づけられ、後に銀座線となる東京高速鐵道(2代目)の路線は第3号線とされている。56号告示以降、都市計画上の正式な告示は第二次大戦後の昭和21年告示の東京復興都市計画高速鐵道網までなかったため、現在の銀座線は1号線及び3号線として建設が進められ、東京地下鐵道のの上野広小路駅、神田駅、三越前駅、日本橋付近、銀座駅が計画路線と交差または接続する箇所となった。なお、東京高速鐵道の赤坂見附駅は網図に接点がないが、昭和6年に3号線と4号線の免許譲渡を市から受ける際に両線の連絡線として同時に免許譲渡を受けたものであり、同駅を連絡線との分岐接続駅として上下二層型の方面別線路配置の駅としたものである。

4. 交差接続部の連絡計画

既に確認されている交差接続計画として、日本橋付近(日本橋～京橋間)で5号線との連絡駅を設置可能な構造としたことと銀座駅に4号線の駅の一部を先行して交差部に築造した旨が東京地下鐵道史に記載されており、このうち銀座駅の構築は日比谷線建設時に改造の上利用されている。同誌には他の箇所についての記載はないが、今回図面上で計画を確認することができた神田駅と上野広小路駅について以下に報告する。

キーワード 地下鉄、銀座線、都市高速鐵道網、都市計画、

連絡先 〒110-8614 東京都台東区東上野3-19-6 東京地下鉄(株) 鐵道本部改良建設部 TEL. 03-3837-7128

(1) 神田駅

神田駅は島式ホーム1面2線の駅で、JR神田駅と反対側の須田町交差点方面に長い中2階の出入口通路がある。かつてはこの通路から地上に出る須田町交差点角に須田町地下鉄ストアが建っていた。この交差点に至る長い通路が56号告示の3号線(東京市地下鉄巢鴨線)万世橋駅との連絡通路計画の一部であり、地下鉄ストア出入口は両線から市電への連絡する役割を持っていたと考えられる。今回確認した「市及び会社線地下鉄道連絡図」では、連絡計画の平面図(図-2)と縦断面図(図-3)が描かれており、須田町交差点と省線万世橋駅間に3号線万世橋駅を設置し、交差点部で銀座線神田駅と通路が接続する計画となっている。この図面からは当時市電が各方面から集まり交通の要衝であった須田町交差点を結節点として非常に重要視していた様子がくみ取れるが、残念ながら省線の万世橋駅は昭和18年に休止(事実上の廃止)され、3号線は戦後銀座線と都営三田線に再編成されたため、現在の須田町交差点を経由する地下鉄は銀座線のみであり、連絡計画の名残として現在も神田駅の須田町方面通路は交差点までを結んでいる。

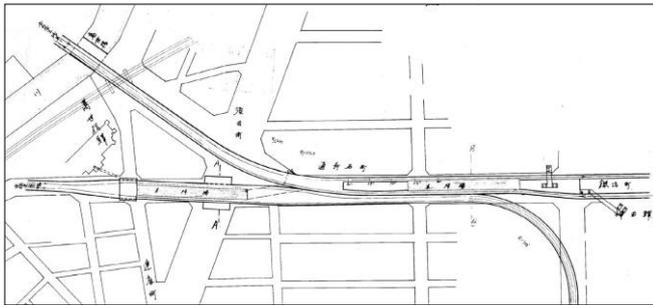


図-2 3号線万世橋駅との連絡計画平面図

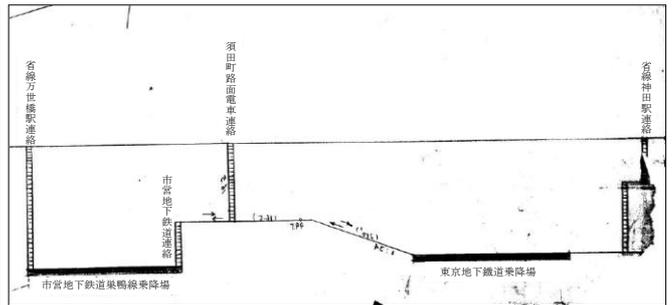


図-3 3号線万世橋駅との連絡計画縦断面図

(2) 上野広小路駅

上野広小路駅は現在都営大江戸線と交差連絡している。この駅の連絡通路は56号告示による4号線との交差連絡計画が生かされている。56号告示では4号線が本郷三丁目から蛸殻町に向かう経路で東京地下鉄道と交差し、当時の図面(図-4)には浅草方面のホームから改札を出た客溜りが台形に描かれており、破線で描かれた4号線の階段へとつながる構造となっている。新橋方面のホーム側は改札を出た後に浅草方面に戻る通路を築造し、交差点部で4号線方面に階段を下りる構造が破線で描かれており、現在の上野広小路駅(図-5)と比較すると都営大江戸線への連絡通路が浅草方面側は台形部分にあった床屋と事務室を撤去して連絡階段を設置し、新橋方面も出入口とホーム連絡階段の間を利用して連絡通路を設置しており、建設当時の計画図面に描かれた通りの構造となっていることがわかる。

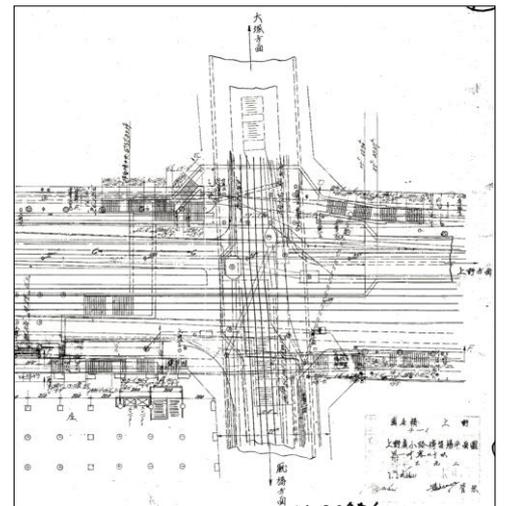


図-4 建設時の上野広小路駅計画図

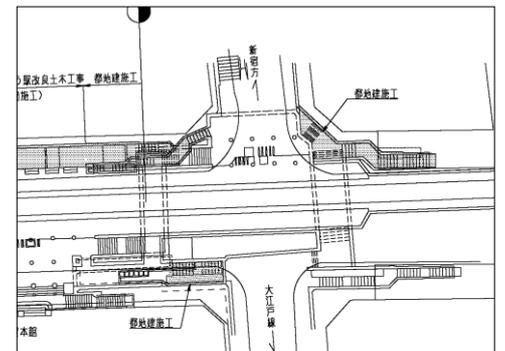


図-5 現在のの上野広小路駅

5. おわりに

今後も東京地下鉄では土木図書館デジタルアーカイブスの構築に協力していく予定であり、28年度以降も銀座線図面のデジタル化が進む。この中で図面の内容を再確認することで、今回報告した都市高速鉄道網との関係に留まらず、東京高速鉄道区間も含めた計画線の概要や駅設置計画など当時の計画を先人の計画論を学びつつ掘り起こしていきたいと考えている。

参考文献

- 1) 東京地下鉄道史(坤) 東京地下鉄道 1934(昭和9)年
- 2) 東京圏における高速鉄道網計画の変遷 営団計画部 1989(平成元年)
- 3) 工務部のあゆみ(土木編) 東京地下鉄工務部 2005(平成17)年